

第4回 琵琶湖外来魚シンポジウム

「完全駆除へのシナリオ」

～ 様々な事例から琵琶湖での可能性を探る ～

.....

日 時：平成17年1月30日(日)

時 間：13:00～17:00

テ ー マ：「完全駆除へのシナリオ」

会 場：琵琶湖博物館ホール (滋賀県草津市下物町 1091)

定 員：200名

参 加 費：無料

申 込 み：不要

主 催：琵琶湖を戻す会

後 援：滋賀県(申請中)

内 容：琵琶湖の外来魚を完全駆除するには何が出来るかを探る

狙 い：琵琶湖では外来魚を排除することが共通認識となりつつあるなかで、外来魚の完全駆除を目指すにはどのような方法が考えられるかについていくつか駆除の具体案をあげ、その方法について実現の可能性を検討する。

- プログラム：・開会挨拶 琵琶湖を戻す会
- ・事例紹介1「伊豆沼での事例」 NPO法人シナイモツゴ郷の会 高橋清孝
 - ・事例紹介2「北海道での事例」 北海道立水産孵化場 工藤 智
 - ・事例紹介3「中禅寺湖での事例」 滋賀県立琵琶湖博物館 中井克樹
 - ・事例紹介4「琵琶湖での事例」 滋賀県水産課 山本充孝
 - ・パネルディスカッション「琵琶湖での可能性の検討」
(パネリスト) 滋賀県漁業協同組合連合青年会 鵜飼広之
滋賀県自然環境保全課 桑村邦彦
講演者各位

内容は予告なく変更する場合があります

協 力：琵琶湖博物館

協 賛：滋賀県漁業協同組合連合青年会
琵琶湖博物館「うおの会」
瀬田川リバプレン隊
ぼてじゃこトラスト
琵琶湖お魚ネットワーク

問い合わせ先：琵琶湖を戻す会 (takada@sen.or.jp)

高田 昌彦：090-8527-3752

当シンポジウムは平成16年度財団法人国際花と緑の博覧会記念協会の助成を受けて開催いたします。

琵琶湖を戻す会

シンポジウムのご案内

第4回 琵琶湖外来魚シンポジウム 「完全駆除へのシナリオ」

現在国家レベルで「特定外来生物被害防止法」の規制対象種の絞り込みを行っている真っ直中ですが、環境こだわり県滋賀では一足先に2003年4月1日に施行されました滋賀県琵琶湖のレジャー利用の適正化に関する条例により、「琵琶湖（滋賀県）に外来魚は不要！」がほぼ共通認識となり、外来魚駆除の是非を議論する段階から一步踏みだし、いかに駆除するか？の段階に入っています。

そんな中、前回（2004年1月）の第3回琵琶湖外来魚シンポジウムでは「外来魚駆除最前線」というテーマで日本各地の駆除現場から熱い報告をしていただきました。外来魚が拡散しつつある最前線現場からの報告は、ある種「外来魚慣れ」してしまった地域にとって、とても大きな刺激となりました。

今回のシンポジウムでは前回からさらに一步踏みだし、琵琶湖で外来魚を完全駆除するにはどのような方策があるのかを検討するために「完全駆除へのシナリオ」というテーマで開催します。

現在のところ、規模の大きな水域で外来魚を完全に駆除する技術は確立しておらず、一部には「完全駆除は無理」との声も聞こえますが、本当に駆除は無理なのか？出来るだけ完全駆除に近づけるにはどのような方法があるのか？について話し合いたいと思います。そこで今回はまず日本各地で外来魚の完全駆除に向けて大きな実績を挙げた事例について、現場で担当された方々から報告して頂いた上で、それらの方法が琵琶湖での外来魚完全駆除に向けて対策として有効であるかどうか、さらに琵琶湖での駆除技術についても報告して頂き、琵琶湖の現状に則した提案なども織りまぜながら、完全駆除の可能性を探ろうと考えています。

私達は琵琶湖に於ける今回のシンポジウムでの議論が、現在環境省が中心となって検討されている特定外来生物被害防止法の特定外来生物へのオオクチバス指定に対して大きな後押しとなると信じています。

そこで皆様方には今回のシンポジウムで琵琶湖での外来魚完全駆除に向けた議論を見聞きしていただくと共に、一人でも多くの皆さんにご参加頂くことが、琵琶湖から全国への「日本に外来魚は不要！」という大きな意思表示になると考えています。